

日本情報考古学会第37回大会のご案内

日本情報考古学会第37回大会を下記の要領で開催いたします。前回大会に引き続き、最新の研究成果の発表、活発な議論が行われることと期待しています。意義ある大会としたいと考えておりますので、皆さまのご協力をお願い申し上げます。会員はもとより、関心をお持ちの研究者・学生・一般の方々も歓迎いたします。お誘いあわせのうえ多数ご参加くださいますよう、お待ちしております。

日本情報考古学会第37回大会実行委員会

期日： 2016年10月8日(土)・9日(日)

会場： 土浦市立博物館（茨城県土浦市中央1丁目15-18）視聴覚ホール（B1）
JR土浦駅（上野駅から常磐線で普通70分または特急50分）下車→土浦駅西口から徒歩15分。
または、土浦駅西口バス停(4)(5)番から「亀城公園」下車→徒歩1分
詳しくは各自土浦市立博物館HPよりご確認ください。
<http://www.city.tsuchiura.lg.jp/section.php?code=43> 本学会HPでもお知らせします。

特別講演

日本の箱式石棺

10月8日(土)
16:30-17:30

講師 茂木雅博先生（茨城大学名誉教授・土浦市立博物館館長）

第1日 10月8日(土) 視聴覚ホール 13:00 開始、17:30 終了

13:00-13:10 開会式

研究発表 1 13:10-13:30 考古学から見たホモ・サピエンスの日本列島への渡来と拡散
植木 武(共立女子学園名誉教授)

研究発表 2 13:30-13:50 パキスタンにおける文化遺産の再記録化プロジェクト(2): イスラマバード博物館
収蔵資料の3D計測とデジタル・アーカイブ化に向けた取り組み
○野口 淳(NPO南アジア文化遺産センター・東大総研博)、横山 真((株)ラング)、千葉 史(同)、ムハンマド・ザヒル(ハザラ大学)、アブドゥル・アゼーム(パキスタン考古博物館局)、近藤英夫(東海大学)

研究発表 3 13:50-14:10 弥生文化の周辺地域におけるエスニック現象の新しい理解に向けて
○平川ひろみ(鹿児島国際大学大学院)、中園 聡(鹿児島国際大学)

研究発表 4 14:10-14:30 等高線図からの没入型3D地形モデルの作成
○杉本厚典(大阪歴史博物館)、江口泰弘

研究発表 5 14:30-14:50 茨城県内の窯跡群および遺跡出土須恵器の蛍光X線分析
三辻利一(鹿児島国際大学)

————— 休憩 ————— 14:50-15:00

研究発表 6 15:00-15:20 茨城県内の窯跡群および古墳出土埴輪の蛍光X線分析
○三辻利一(大阪大谷大学)、犬木 努(同)

研究発表 7 15:20-15:40 岡山後樂園所在の「大立石」について(予察)
三瓶裕司(公益財団法人かながわ考古学財団)

研究発表 8 15:40-16:00 東之宮古墳における地中レーダ探査
○泉 吉紀(富山大学)、酒井英男(同)、鈴木 碧(同)、渡邊 樹(犬山市教育委員会)

研究発表 9 16:00-16:20 東大寺領荘園に関連した富山県砺波市久泉遺跡と大溝の研究
○酒井英男(富山大学)、岸田 徹(同志社大学)、泉 吉紀(富山大学)、川崎一雄(同)、野原大輔(砺波市教育委員会)

————— 休憩 ————— 16:20-16:30

特別講演 16:30-17:30 日本の箱式石棺 茂木雅博先生
(茨城大学名誉教授・土浦市立博物館館長)

懇親会 18:00～

第2日 10月9日(日) 視聴覚ホール 10:00 開始、15:10 終了

研究発表 10 10:00-10:20 小豆島における文化遺産活用の検討—世界考古学会議 Pre-Congress Tour を通じて—
川宿田好見(同志社大学文化遺産情報科学研究センター)

研究発表 11 10:20-10:40 特別天然記念物—古代の魚津埋没林のレーダ探査研究
○泉 吉紀(富山大学)、酒井英男(同)

研究発表 12 10:40-11:00 磁化研究による黒曜石製遺物の熱履歴の研究
○菅頭明日香(青山学院大学)、酒井英男(富山大学大学院)

研究発表 13 11:00-11:20 花崗岩類のベルト帯
三辻利一(鹿児島国際大学)

研究発表 14 11:20-11:40 関東地域の縄文土器の蛍光X線分析
三辻利一(鹿児島国際大学)

11:40-12:10 総会 学会賞授賞式

————— 休憩 ————— 12:10-13:00

研究発表 15 13:00-13:20 遺物表面の展開に関する評価方法
○王 澤鵬(岩手大学)、松山克胤(同)、今野晃市(同)

研究発表 16 13:20-13:40 楕円を用いた完形土器の円形度解析手法の検討
○韓 菲(岩手大学)、木下 勉(福井工業大学)、松山克胤(岩手大学)、今野晃市(同)

研究発表 17 13:40-14:00 岡山県南部地域における終末期古墳の立地と要素—総社市鷲尾塚古墳を中心に—
四田寛人(岡山大学文学部)

研究発表 18 14:00-14:20 土器製作者の個人同定法とその考古学研究における意義
中園 聡(鹿児島国際大学)

研究発表 19 14:20-14:40 考古資料の三次元記録の実践例—様々な手法・装置間の比較—
○太郎良真妃(鹿児島国際大学大学院)、中園 聡(鹿児島国際大学)

研究発表 20 14:40-15:00 中国東北地区における新石器時代土器の調査とSfMによる記録
○楊 帆(鹿児島国際大学大学院)、太郎良真妃(同)

15:00-15:10 閉会式

- 土浦市立博物館では、特別公開「土屋家の刀剣—国宝・重要文化財の公開—」の期間です。(10月10日までこの機会にご覧ください。
※大会参加者は入館料無料(当学会負担)でご覧いただけます。はじめに大会受付をお済ませください。
- 大会参加費(『日本情報考古学会講演論文集』Vol.17 込み) 会員 2000円、非会員 3500円
- 懇親会は、第1日(土)終了後、18:00より土浦駅周辺を予定。懇親会費 4000円を予定。(詳細は学会HPでお知らせいたします)
- 当日参加も可能ですが、人数把握のため会員・非会員にかかわらずメールにて、「大会参加」「懇親会出席」について、事前に学会事務局までお知らせくださいますよう、ご協力ください。archaeoinfoiuk@gmail.com
- 宿泊は、各自でご予約下さい。
- 第2日(日)の昼食は、各自でご用意ください。博物館周辺に飲食店があります。
- 詳細・変更等は学会ホームページで逐次ご案内します。必ずご確認ください。http://www.archaeo-info.org/
- 大会に関するお問い合わせは、学会事務局まで。お問い合わせ、ご連絡はメールでお願いします。(調査等で不在のことがあります)。archaeoinfoiuk@gmail.com